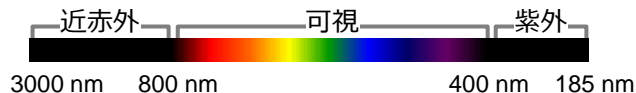
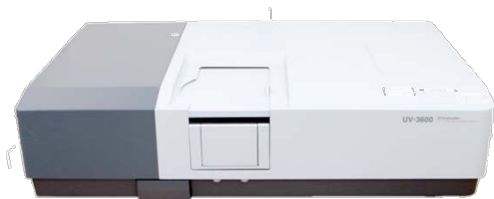


# 紫外可視近赤外分光光度計

SHIMADZU / UV-3600

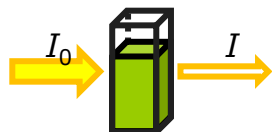
## 概要



紫外、可視及び近赤外領域の光を用いて溶液の吸収スペクトルを測定し定量分析を行える装置です。本装置は左図に示した、近赤外・可視・紫外の広範囲の波長を測定することが出来ます。吸光度の大きさによって定量分析も可能です。

## 原理

光源から単色光を作り出し、これを試料に照射し、透過した光の吸収を測定することで吸光度を求めます(下図)。



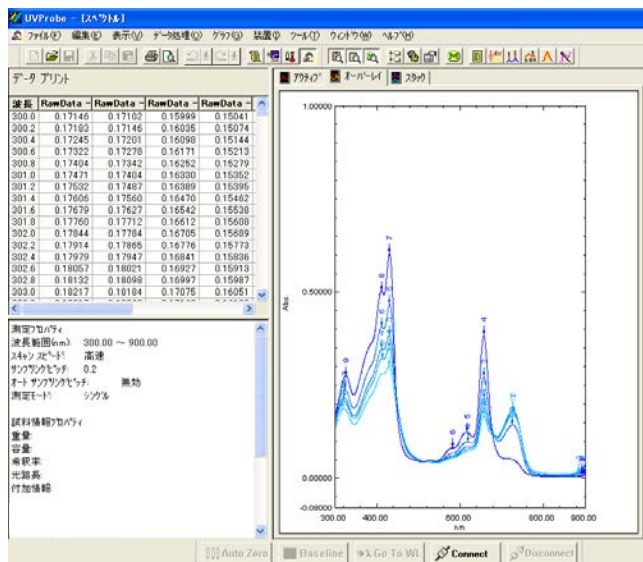
$$\text{透過率}(\%T) = (I/I_0) \times 100\%$$

$$\text{吸光度}(A) = -\log(\%T/100)$$

## 仕様

波長範囲	185~3300 nm
バンド幅	紫外可視: 0.1~8 nm(8段切替) 近赤外: 0.2~32 nm(10段切替)
波長分解	0.1 nm
波長正確さ	紫外可視: ±0.2 nm 近赤外: ±0.8 nm
繰返精度	紫外可視: ±0.08 nm 近赤外: ±0.32 nm
測光方式	ダブルビーム測光方式

## 分析例



クロロフィルの吸収スペクトル

## 適応例

- 材料試験・評価分野
- エネルギー・燃料分野
- バイオ・製薬分野
- 化学・石油化学分野
- 食品・農業分野

ご不明な点等ございましたら、フォトリクスセンター技術職員までお問い合わせください。  
e-mail : parc-tech@parc.osaoa-u.ac.jp